

学習展開例

授業時間 100分 2単位時間目安

常識を疑え
発想の転換で農業に誇りと夢を

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①「農業」という仕事について思っていること、考えていることを交流し合う。	○地域の特性を考慮して、話し合わせる。農村地域では、見聞きして知っていること、地域の大人たちから聞いたことを引き出して、活発に話し合わせるとよい。それ以外の地域では、社会科で学習したことを思い出させたり、補助資料を準備したりするなどの工夫が必要である。
10分	②番組のオープニングを視聴する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 視聴 TV ・「農業はもうからない」という常識をやぶる (開始～5分50秒) </div>	○オープニングでは、およそ農家のイメージとかけ離れた木内氏たち農家集団の様子が伝えられる。自分たちが「農業」に対して抱いているイメージとのギャップを意識させるような問いかけをしていく。
30分	③続きを視聴し、木内氏たちの取り組みについてノートに整理し、そのベースとなっている流儀について考える。  <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍ほうれん草、カット野菜など常識にとらわれない発想で広がるビジネスチャンス (5分50秒～20分29秒) 	○常識を疑う発想の転換のおもしろさ、新しいことにチャレンジしていくことの楽しさを印象づけるようにする。
25分	④続きを視聴し、木内氏がどんな思いで農業に取り組んできたか考える。  <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と始めた産直販売 ・会社を設立 ・92人の大集団に (20分29秒～33分27秒) 	○「もうかる農業」をつくりあげる背景にあるもの、家族への思い、仲間への思いについて考えさせる。木内氏が金もうけのためでなく、人のために働くことに意義を見出していることに気づかせる。 ○インタビューで木内氏が語る農業のおもしろさにも注目させる。
25分	⑤最後の部分を視聴し、木内氏の生き方について感想を書く。  <ul style="list-style-type: none"> ・次の一手 ・新しいトマト栽培 ・オーストラリアへの進出 (33分27秒～47分34秒) 	○すべてのチャレンジが成功するわけではない。失敗に対して木内氏がどう行動しているかに注目させる。 ○最後に、一人の人間として木内氏の生き方をどう思うか考えさせる。

小学校展開例

次世代の農業をきりひらく大胆な発想とそれを支える農業への夢と誇り

小学校では、社会や総合での利用が考えられる。5年社会では、日本の農業の実態や課題を学習した後に、本番組の冒頭（開始～13分48秒）を視聴し、固定観念にとらわれない大胆な発想で次世代の農業をきりひらく木内氏の姿から、農業の可能性について考えていくとよいだろう。また、6年総合のキャリア教育では、番組の中盤（20分29秒～33分27秒）を視聴し、農業に夢と誇りをもって信念を貫く木内氏の生き方から、プロフェッショナルとは何かを考えていくとよいだろう。（加納 真）